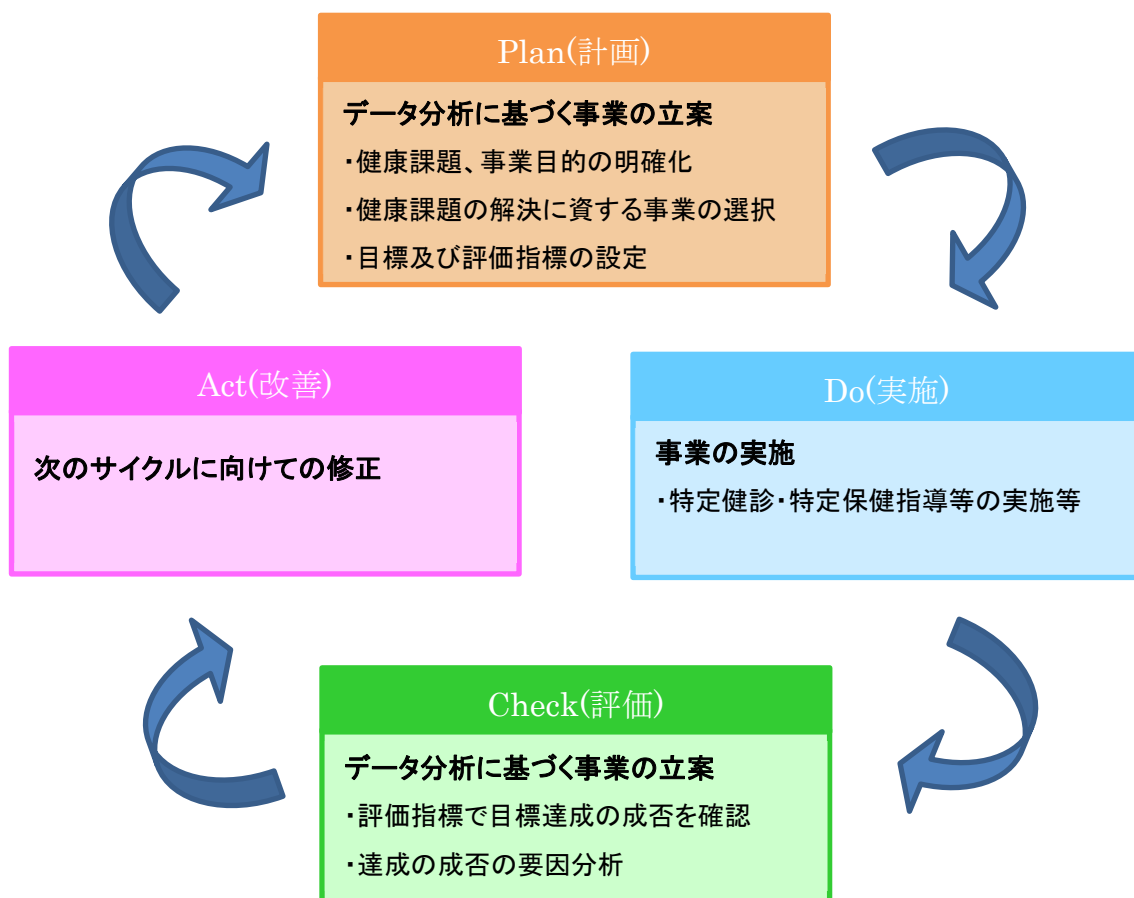


第三期データヘルス計画を策定しました

◆データヘルス計画とは

国民の健康維持・増進の重要性が高まる中、21世紀に入ってから「健康日本21」の策定や健康増進法の施行、特定健診・特定保健指導の導入、「健康日本21（第二次）」のスタートなど、国民一人ひとりの健康づくりを視점에捉えた様々な取組が段階的に進められてきたところですが、平成25年6月に閣議決定された成長戦略「日本再興戦略」において、すべての健康保険組合に、レセプト・健診データの分析に基づくデータヘルス計画の作成・公表、事業実施、評価などの取組が求められたところで

す。
文部科学省共済組合においても第一期、第二期データヘルス計画を踏まえ、この度第三期データヘルス計画を別紙のとおり策定し、健康・医療情報（健診・レセプトデータ）を活用して **PDCA サイクル** に沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図っていきます。



データヘルス計画書

計画策定日：令和6年3月29日

最終更新日：令和6年3月29日

文部科学省共済組合

STEP 1 - 1 基本情報

「全健保組合共通様式」

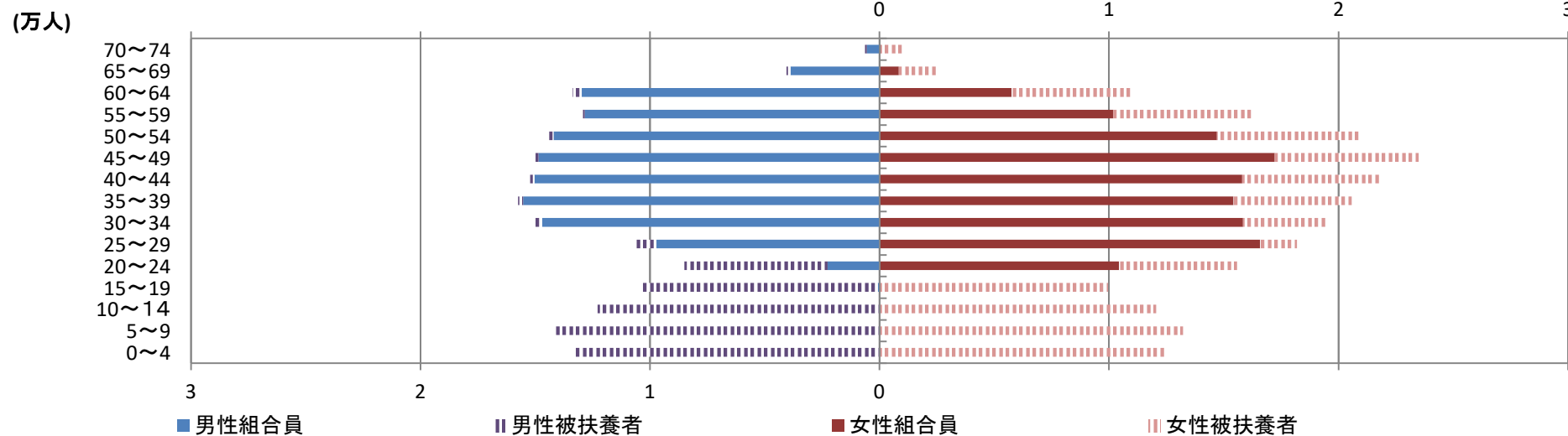
| | | | |
|-------------------|--------------------------------------------------------|-------|-------|
| 保険者番号 | 31130594 | | |
| 組合名称 | 文部科学省共済組合 | | |
| 組合員数（令和5年4月1日 現在） | 239,504名 男性48.7%（平均年齢45.1歳）* 女性51.3%（平均年齢40.6歳）* | | |
| 加入者数（令和5年4月1日 現在） | 394,676名 | | |
| 支部数 | 96支部 | | |
| | 全体 | 組合員 | 被扶養者 |
| 特定健康診査実施率（令和3年度） | 71.2% | 81.0% | 39.3% |
| 特定保健指導実施率（令和3年度） | 12.9% | 12.5% | 19.2% |

共済組合の現況

文部科学省共済組合は国家公務員共済組合の中でも3番目に大規模な組合である。

加入者は、文部科学省に勤務する国家公務員等と、国立大学法人、大学共同利用機関法人、文部科学省の所管する独立行政法人に勤務する職員等を組合員として構成されており、その業種も、事務員、教員、医師、研究者等多様である。

支部数は令和6年4月1日現在96支部あり、全国47都道府県に点在している。また、支部の規模も様々である。



男性組合員よりも、女性組合員が若干多い構成となっている。組合員の年齢比率は、男性は29歳未満の年代が少なく、35歳～39歳が最も多く、次いで40歳～44歳、45歳～49歳となっている。女性は45歳～49歳が最も多く、次いで25歳～29歳、30歳～34歳となっている。

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

| 共済組合の取組 | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|----------|--------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|------|----|----|-----|---------|---------|-----------|-----------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|--|
| 予算科目 | 注1) 事業分類 | 事業名 | 事業の目的および概要 | 対象者 | | | | | 事業費(千円) | 振り返り | | | 注2) 評価 | | |
| | | | | 資格 | 対象支部 | 性別 | 年齢 | 対象者 | | 実施状況・時期 | 成功・推進要因 | 課題及び阻害要因 | | | |
| 診特定事業健康 | 1 | 特定健康診査(組合員) | 【目的】特定健診の実施率向上、健康状態の把握 【概要】文部科学省等各事業所が行う定期健診(人間ドックを含む)と合わせて実施 | 組合員 | 全て | 男女 | 40 | ～ | 74 | 全員 | 147,657 | 令和4年度実績 101,572人 実施率74.9% | 人間ドックの受診者数は年々増加傾向にある | 事業主が実施する定期健康診断のデータ送付が早期に行われるよう、事業主側の協力が必須 | |
| 診特定事業健康 | 1 | 特定健康診査(被扶養者等) | 【目的】特定健診の実施率向上、健康状態の把握 【概要】指定健診機関にて受診(WEB又は電話・FAXにより予約) | 被扶養者 | 全て | 男女 | 40 | ～ | 74 | 全員 | 上記を含む | 上記を含む | 受診にかかる費用を全額補助している。年に1回、対象となる被扶養者に健診パンフレットの郵送を行った。都市部においては集団健診を実施した。 | 新型コロナウイルス感染症拡大時には受診控えが見られた。受診率向上のため、効果的な受診勧奨の検討。 | |
| 指導特定事業健康 | 3 | 特定保健指導 | 【目的】特定保健指導の実施率の向上、生活習慣病リスク保有者の生活習慣、健康状態の改善 【概要】特定健診の結果、基準該当者に案内書を送付し、対面又はオンラインでの特定保健指導を実施 | 組合員 被扶養者 | 全て | 男女 | 40 | ～ | 74 | 基準該当者 | 上記を含む | 令和4年度実績 対象者数：17,790人 終了者数：1,976人 実施率11.1% | 支部担当者に対し、全国会議や事務連絡等で組合全体及び各支部ごとの実施率を共有した。その上で各支部における利用勧奨の協力依頼を行った。 | 各支部の実情に応じた利用勧奨を引き続き実施。 | |
| 保健伝指導 | 4 | ジェネリック医薬品差額通知の配布 | 【目的】後発医薬品の使用促進、調剤医療費の適正化 【概要】ジェネリックシールを配布。後発医薬品差額通知を対象者に送付し、効果測定を実施。 | 組合員 被扶養者 | 全て | 男女 | 40 | ～ | 74 | 対象者 | - | 令和4年度実績 新規加入者に対し、組合員証の発行の際にジェネリックシールを配布した。対象者15,000人に対し、差額通知を送付した。 | 令和4年度は後発医薬品利用率80%以上と国の目標値に届いている。 | 引き続き使用促進について周知を行う | |
| 予疾病 | 1 | 人間ドック | 【目的】健康状態の把握、疾病の早期発見・早期治療、特定健診受診率の向上 【概要】組合員および被扶養配偶者に対し、人間ドック費用の一部助成(組合員上限25,000円、被扶養者上限は15,000円)を実施 | 組合員 被扶養者 | 全て | 男女 | 35 | ～ | | 全員 | - | 令和4年度実績 組合員 34,687人 被扶養配偶者 6,919人 | 人間ドックの受診者数は年々増加傾向にある | 利用者の拡大 健診結果の提出の浸透 | |
| 予疾病 | 1 | 生活習慣病健診 | 【目的】特定健診の実施率向上、健康状態の把握 【概要】指定健診機関にて受診(WEB又は電話・FAXにより予約) | 被扶養者 | 全て | 男女 | 40 | ～ | 74 | 全員 | 特定健康診査に含む | 令和4年度実績 4,853件 | 受診にかかる費用を全額補助している。特定健診よりも詳細な健診項目となっており、ここ数年増加傾向にある。 | 利用者の拡大 | |
| 予疾病 | 7 | 救急薬品等の支給 | 【目的】疾病予防・重症化予防 【概要】へき地勤務者等に対して救急薬品等を支給 | 組合員 | 一部 | 男女 | 18 | ～ | 74 | 基準該当者 | 2,348 | 令和4年度実績 411人 | - | - | |
| 体育奨励 | 7 | テニス・野球・ソフトボール大会の実施 | 【目的】健康の保持・増進とリフレッシュ、明るい職場づくり 【概要】各スポーツ大会に組合員が参加するにあたり、費用の一部を補助 | 組合員 | 一部 | 男女 | 18 | ～ | 74 | 基準該当者 | 6,428 | 令和4年度実績 17支部 | - | - | |

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|---|------------------|---------------------------------------------------------------------------|-------------|----|----|----|---|----|---------------|---------|--------------------------|--------------------------------------------|-----------------------------------------------------|--|
| 保 直 養 所 営 | 7 | 直営宿泊施設利用補助 | 【目的】健康の保持・増進とリフレッシュ 【概要】組合員及び被扶養者が利用する場合、1泊につき（1回の宿泊につき3泊を限度）1,000円を割引 | 組合員 被扶養者 | 全て | 男女 | 0 | ～ | | 全員 | 2,510 | 令和4年度実績 2,510件 | 宿泊所の会議室を利用した被扶養者向けの特定健診を実施し、宿泊施設の周知にもつながった | - | |
| そ の 他 | 7 | 会員制福利厚生サービス | 【目的】健康の保持・増進とリフレッシュ 【概要】育児、宿泊、フィットネス、レジャーを含むの複数サービスから組合員や家族が選択して利用 | 組合員 被扶養者 | 全て | 男女 | 0 | ～ | | 全員 | 300,000 | 新規加入者に対し、パンフレットやイントラ等で周知 | 利用者は増加傾向にある | 組合員証の発行時などにサービス案内を配布しているが、まだ浸透していない地域もあるため引き続き周知の継続 | |
| そ の 他 | 7 | 生涯生活設計セミナーの開催 | 【目的】生活設計支援 【概要】40歳以上の組合員に「生涯生活設計セミナー」、退職を5年以内程度に控えた組合員に「退職準備セミナー」を開催 | 組合員 | 一部 | 男女 | 40 | ～ | 74 | 基準 該当 者 | 1,815 | 令和4年度実績 28支部 | - | - | |
| そ の 他 | 7 | 芸術鑑賞・講演会・美術鑑賞等補助 | 【目的】健康の保持・増進とリフレッシュ 【概要】芸術鑑賞・講演会・美術鑑賞を組合員が実施するにあたり、費用の一部を補助 | 組合員 | 一部 | 男女 | 18 | ～ | 74 | 全員 | 16,662 | 令和4年度実績 48支部 | - | - | |
| そ の 他 | 7 | 宿泊施設等補助 | 【目的】健康の保持・増進とリフレッシュ 【概要】組合員及び被扶養者が直営以外の保養施設等を利用するにあたり、費用の一部を補助 | 組合員 被扶養者 | 一部 | 男女 | 0 | ～ | | 全員 | 16,662 | 令和4年度実績 30支部 | - | - | |
| そ の 他 | 7 | 記念品等配布 | 【目的】組合員の慰労 【概要】30年以上の勤続退職者に記念品を配布 | 組合員 | 全て | 男女 | 18 | ～ | 74 | 基準 該当 者 | 35,544 | 令和4年度実績 2,458件 | - | - | |

注1) 1. 健康診査 2. 健康診査後の通知 3. 保健指導 4. 健康教育 5. 健康相談 6. 訪問指導 7. その他

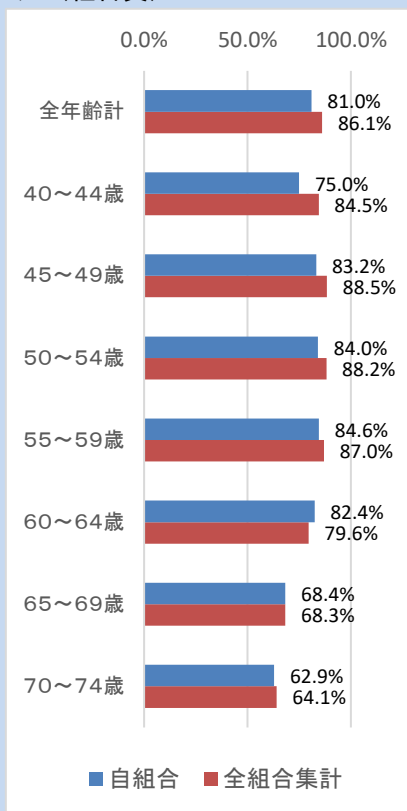
注2) 1: 39%以下 2: 40%以上 3: 60%以上 4: 80%以上 5: 100%以上

STEP 1 - 3 特定健診・特定保健指導の実施状況等

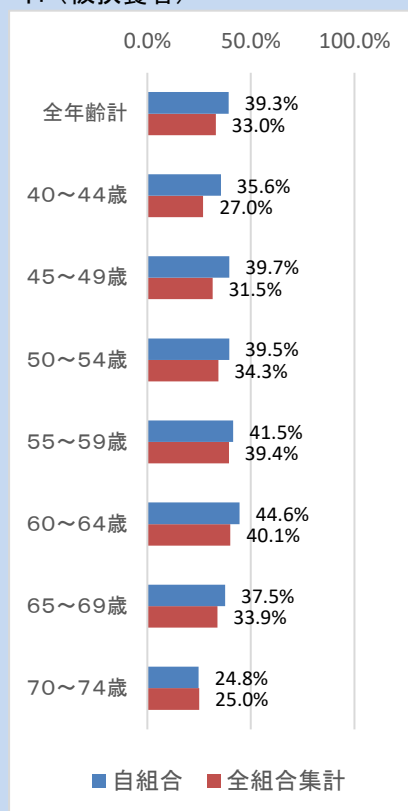
<令和3年度>

【特定健診の実施率】

ア. (組合員)

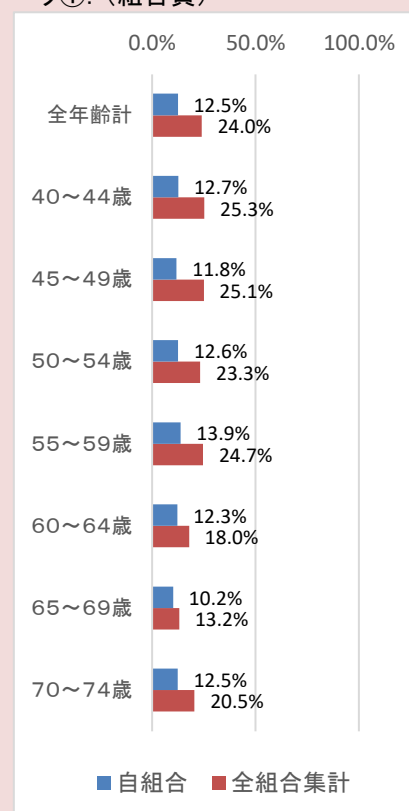


イ. (被扶養者)

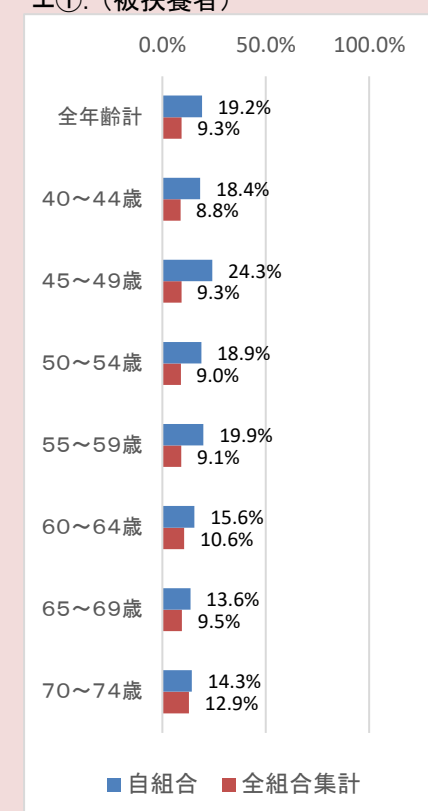


【特定保健指導の実施率】

ウ①. (組合員)



エ①. (被扶養者)



ア.イ.

「第三期特定健康診査等実施計画」における令和3年度の特定健診の目標は、80%である。国への報告資料によると令和3年度の当組合の特定健診の受診率は、72.3%であり、達成まであと7.7ポイントである。令和3年度の特定健診の受診率について、組合員では、全年齢計は81.0%であり、全組合集計の86.1%を下回る。最も高いのが50～54歳の84.6%である。被扶養者では、全年齢計は39.3%であり、全組合集計の33.3%を上回る。

ウ.エ

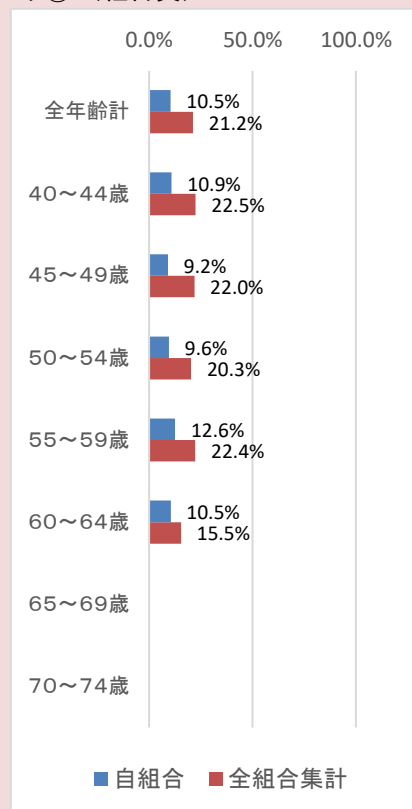
「第三期特定健康診査等実施計画」における令和3年度の特定保健指導の目標は、35%である。国への報告資料によると、令和3年度の当組合の特定保健指導の実施率は、19.5%であり、達成まで15.5ポイントである。令和3年度の特定保健指導の実施率について、組合員では、全年齢計は12.5%であり、全組合集計の24.0%を下回る。最も高いのが55～59歳の13.9%である。被扶養者では、全年齢計は19.2%であり、全組合集計の9.3%を上回る。

STEP 1 - 3 特定健診・特定保健指導の実施状況等

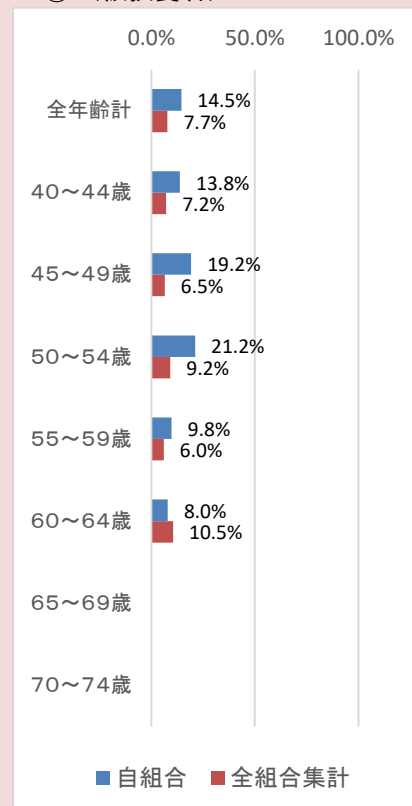
〈令和3年度〉

【特定保健指導の実施率・積極的支援】

ウ②. (組合員)

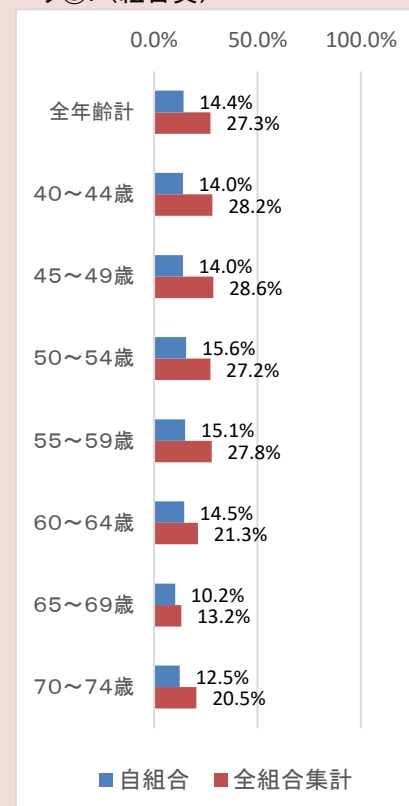


エ②. (被扶養者)

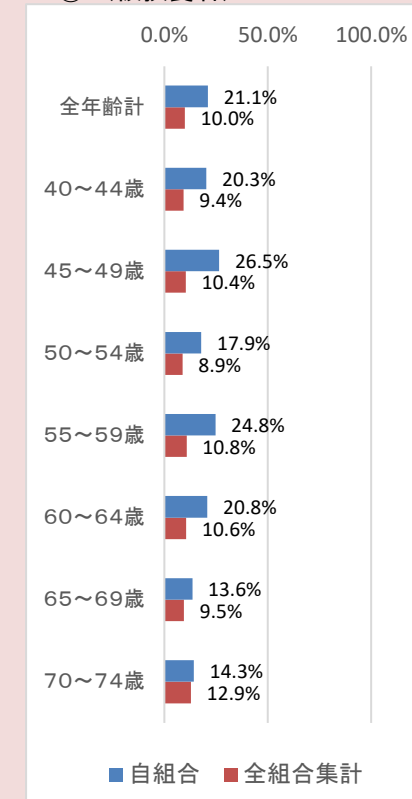


【特定保健指導の実施率・動機づけ支援】

ウ③. (組合員)



エ③. (被扶養者)



ウ.

令和3年度の特定保健指導の積極的支援の実施率では、組合員については全年齢計で10.5%であり、全組合集計の21.2%を下回る。40～44歳がもっとも高く22.5%である。被扶養者については、全年齢計で14.5%であり、全組合集計の7.7%を上回る。

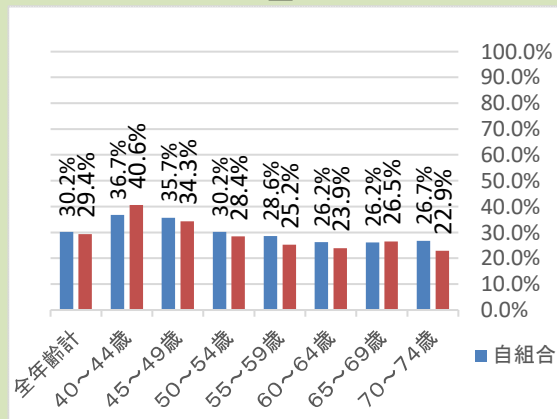
エ.

令和3年度の特定保健指導の動機づけ支援の実施率では、組合員については全年齢計で14.4%であり、全組合集計の27.3%を下回る。50～54歳がもっとも高く15.6%である。被扶養者については、全年齢計で21.1%であり、全組合集計の10.0%を上回る。

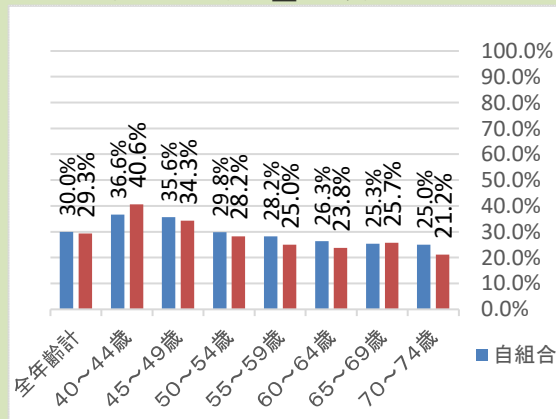
STEP 1 - 3 特定健診・特定保健指導の実施状況等

〈令和3年度〉

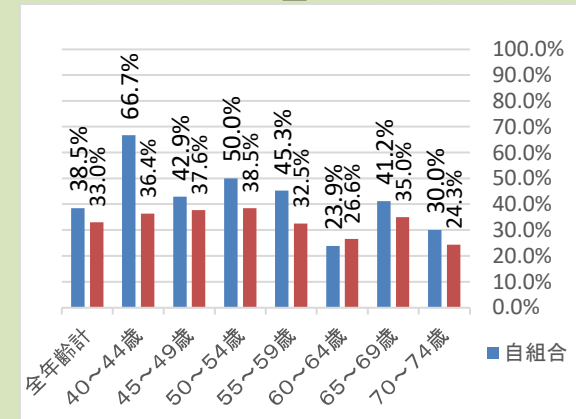
オ. メタボ該当率の減少率_組合員・被扶養者



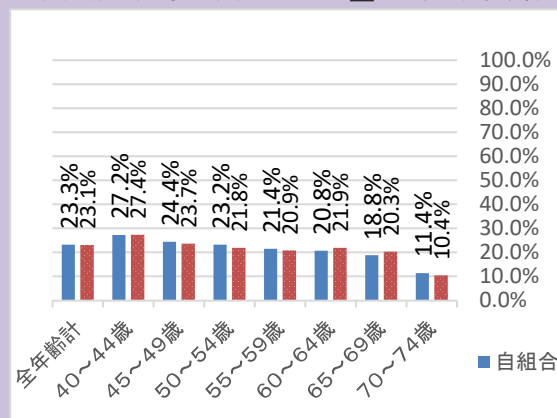
オ. メタボ該当率の減少率_組合員



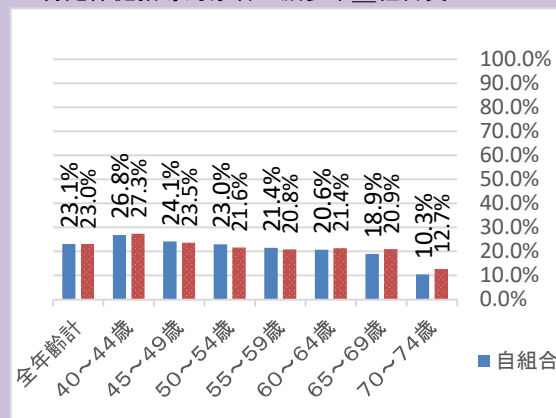
オ. メタボ該当率の減少率_被扶養者



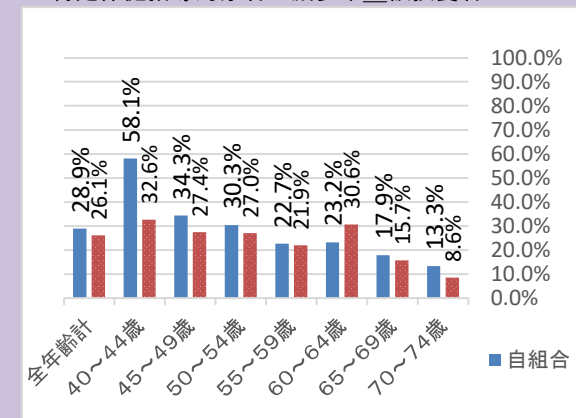
カ. 特定保健指導対象者の減少率_組合員・被扶養者



カ. 特定保健指導対象者の減少率_組合員



カ. 特定保健指導対象者の減少率_被扶養者



オ.

令和2年度のメタボリックシンドローム該当者のうち、令和3年度にメタボリックシンドロームではなくなった人の割合をみると、加入者については30.2%で、全組合集計と同水準である。
組合員は30.0%で、全組合集計と同水準である。被扶養者は38.5%で全組合集計の33.0%を上回る。

カ.

令和2年度の特定保健指導対象者のうち、令和3年度に特定保健指導対象者ではなくなった人の割合をみると、加入者については23.3%で全組合集計と同水準である。
組合員は23.1%で、全組合集計と同水準である。被扶養者は28.9%で、全組合集計を上回る。

STEP 1 - 4 一人当たり医療費 (疾病大分類 - 1)

キ①. 疾病大分類別一人当たり医療費_組合員・男性



キ②. 疾病大分類別一人当たり医療費_組合員・女性



キ③. 疾病大分類別一人当たり医療費_組合員・男女計



キ.

- ①組合員・男性をみると、「新生物」がもっとも高く16,283円、ついで「循環器系疾患」、「消化器系疾患」である。「新生物」と「消化器系疾患」は全組合集計を上回るが、「循環器系疾患」は全組合集計を下回る。
- ②組合員・女性をみると、「新生物」がもっとも高く23,122円、ついで「腎尿路生殖器系疾患」、「重症急性呼吸器症候群など」である。「重症急性呼吸器症候群など」は全組合集計を下回るが、「新生物」と「腎尿路生殖器系疾患」は全組合集計を上回る。
- ③組合員・男女計をみると、「新生物」がもっとも高く19,591円、ついで「腎尿路生殖器系疾患」、「循環器系疾患」である。「新生物」と「腎尿路生殖器系疾患」は全組合集計を上回るが、「循環器系疾患」は全組合集計を下回る。

STEP 1 - 4 一人当たり医療費 (疾病大分類 - 2)

<令和4年度受診分>

キ④. 疾病大分類別一人当たり医療費_被扶養者_男性



キ⑤. 疾病大分類別一人当たり医療費_被扶養者_女性



キ⑥. 疾病大分類別一人当たり医療費_被扶養者_男女計



キ.

④被扶養者・男性をみると、「重症急性呼吸器症候群など」がもっとも高く20,596円、ついで「呼吸器系疾患」、「損傷・中毒・外因性」である。いずれも全組合集計を下回っている。

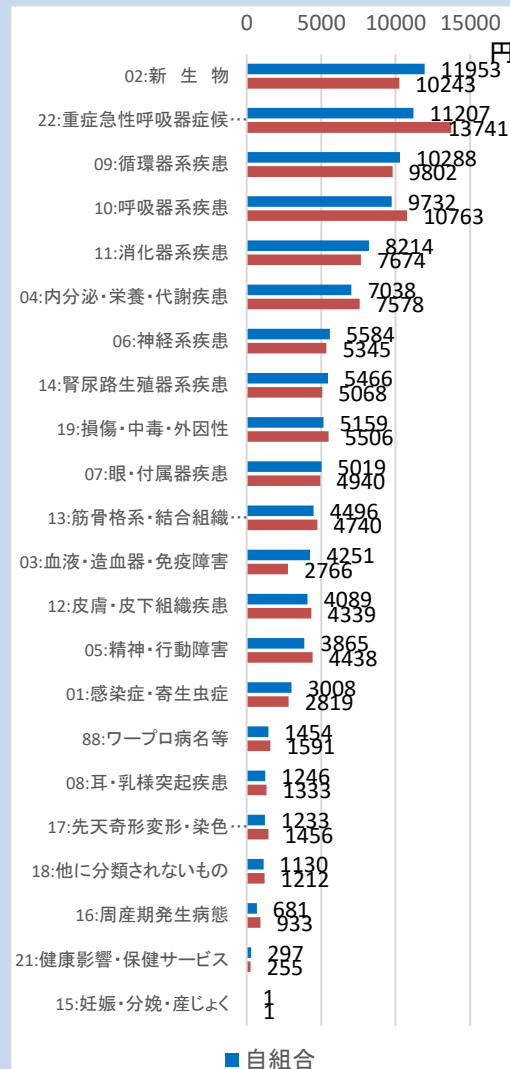
⑤被扶養者・女性をみると、「新生物」がもっとも高く14,785円、ついで「重症急性呼吸器症候群など」、ついで「呼吸器系疾患」である。「重症急性呼吸器症候群など」と「呼吸器系疾患」は全組合集計を下回るが、「新生物」は全組合集計を上回る。

⑥加入者・男女をみると、「重症急性呼吸器症候群など」がもっとも高く16,489円、ついで「呼吸器系疾患」、「新生物」である。「重症急性呼吸器症候群など」と「呼吸器系疾患」は全組合集計を下回るが、「新生物」は全組合集計を上回る。

STEP 1 - 4 一人当たり医療費 (疾病大分類 - 3)

<令和4年度受診分>

キ⑦. 疾病大分類別一人当たり医療費_加入者・男性



キ⑧. 疾病大分類別一人当たり医療費_加入者・女性



キ⑨. 疾病大分類別一人当たり医療費_加入者・男女計



キ.

④加入者・男性をみると、「新生物」がもっとも高く11,953円、ついで「重症急性呼吸器症候群など」、「循環器系疾患」である。「新生物」と「循環器系疾患」は全組合集計を上回るが、「重症急性呼吸器症候群など」は全組合集計を下回っている。

⑤加入者・女性をみると、「新生物」がもっとも高く19,106円、ついで「腎尿路生殖器系疾患」、「重症急性呼吸器症候群など」である。「重症急性呼吸器症候群など」は全組合集計を下回るが、「新生物」と「腎尿路生殖器系疾患」は全組合集計を上回る。

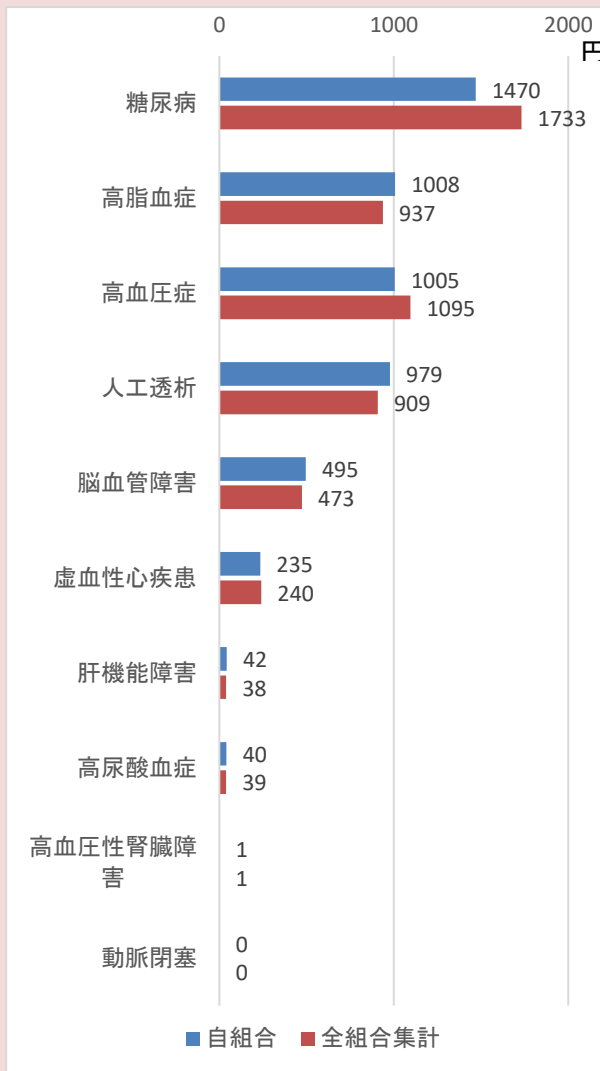
⑥加入者・男女をみると、「新生物」がもっとも高く15,810円、ついで「重症急性呼吸器症候群など」、「呼吸器系疾患」である。「新生物」は全組合集計を上回るが、「重症急性呼吸器症候群など」、「呼吸器系疾患」は全組合集計を下回る。

STEP 1 - 4 一人当たり医療費

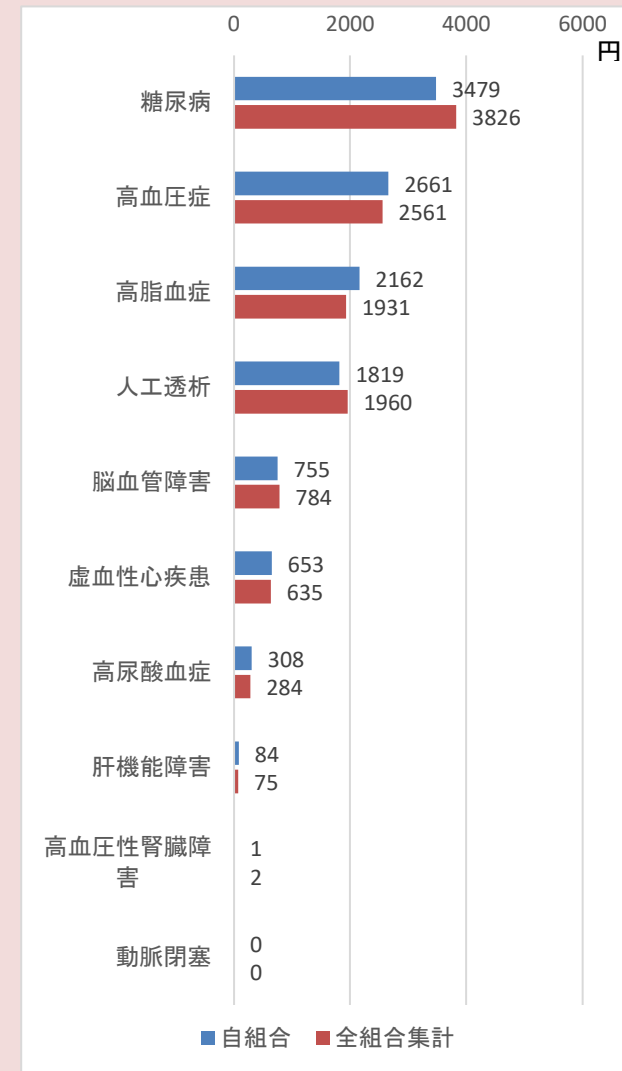
ク①. 生活習慣病に関わる疾病の一人当たりの医療費_組合員



ク②. 生活習慣病に関わる疾病の一人当たりの医療費_被扶養者



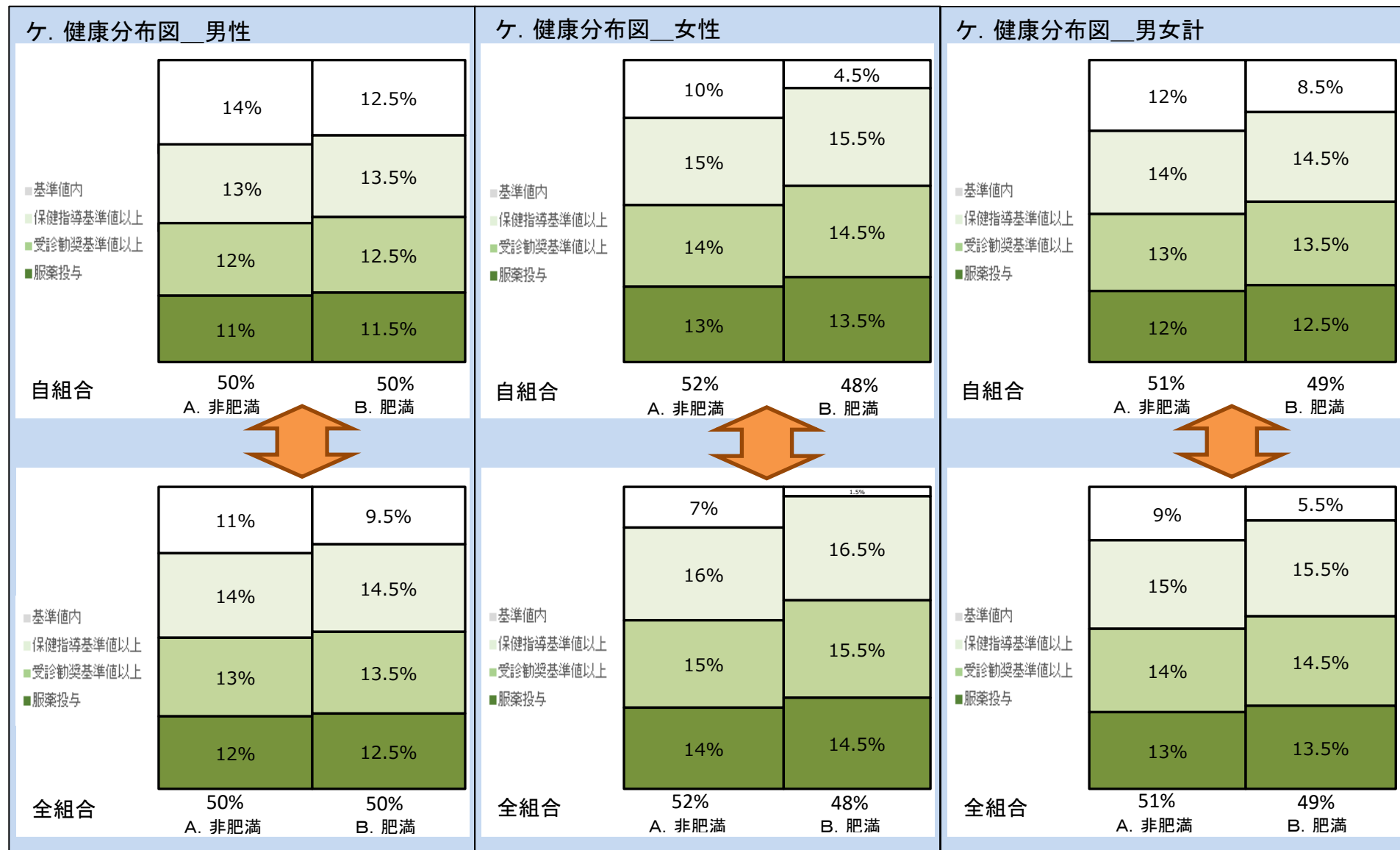
ク③. 生活習慣病に関わる疾病の一人当たりの医療費_加入者



ク.

- ①組合員についてみると、糖尿病がもっとも高く4,947円、ついで、高血圧症、高脂血症である。
 ②被扶養者についてみると、糖尿病がもっとも高く1,470円、ついで、高脂血症、高血圧症である。
 ③加入者についてみると、糖尿病がもっとも高く3,479円、ついで高血圧症、高脂血症である。

STEP 1 - 5 健康分布図等



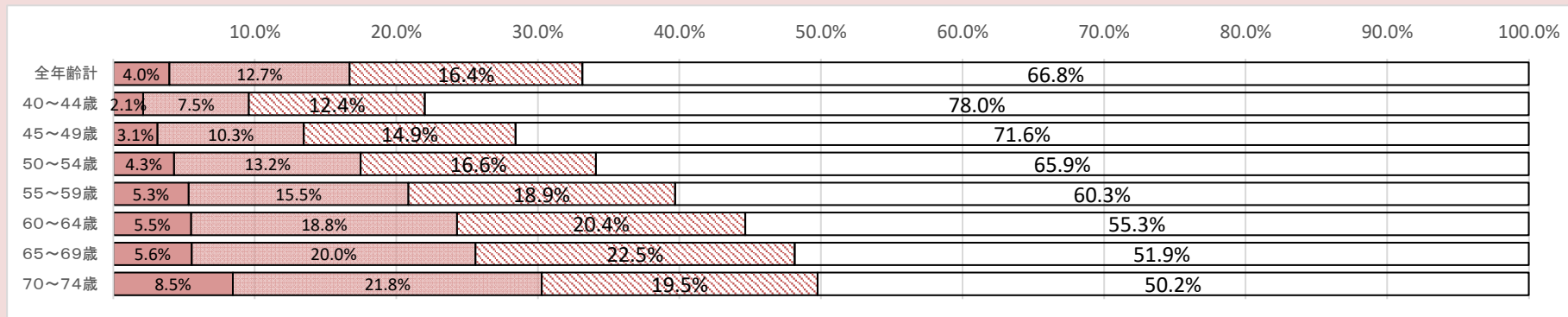
ケ.

- ①男性をみると、肥満の割合は50%であり、全組合集計と同水準である。
- ②女性をみると、肥満の割合は48%であり、全組合集計と同水準である。
- ③男女計では、肥満の割合49%であり、全組合集計と同水準である。

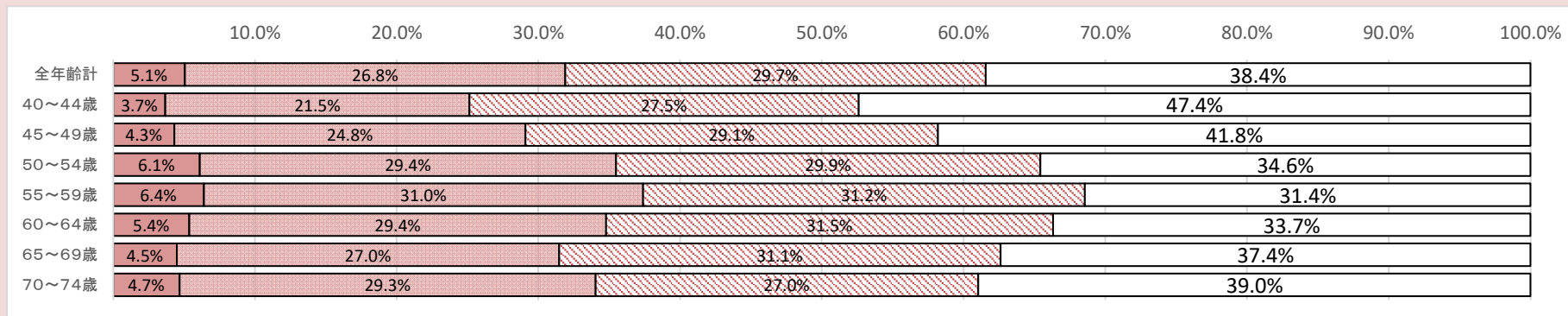
STEP 1 - 5 健康分布図等

コ・サ①. 血圧値が保健指導基準値以上の者の割合_加入者

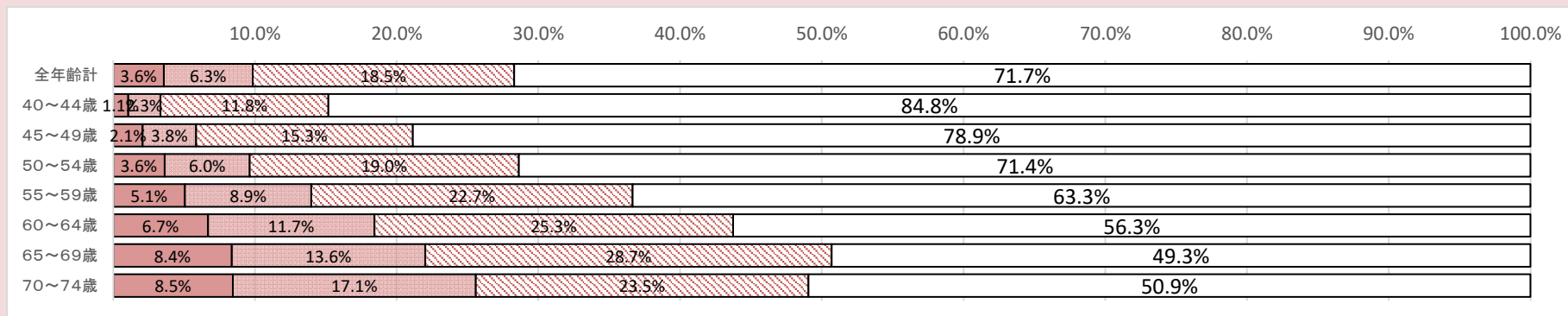
※ランク分け基準表とコメントは次ページに記載



コ・サ②. 脂質値が保健指導基準値以上の者の割合_加入者



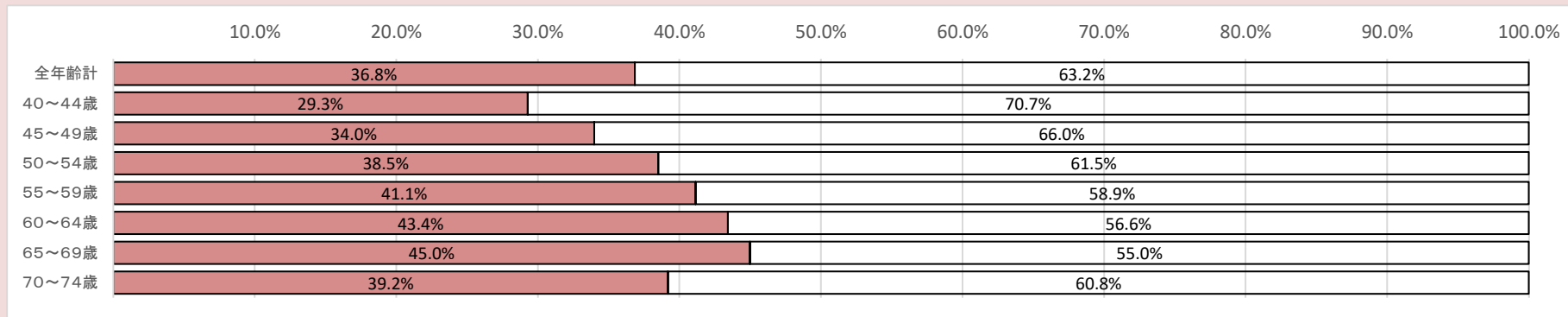
コ・サ③. 血糖値が保健指導基準値以上の者の割合_加入者



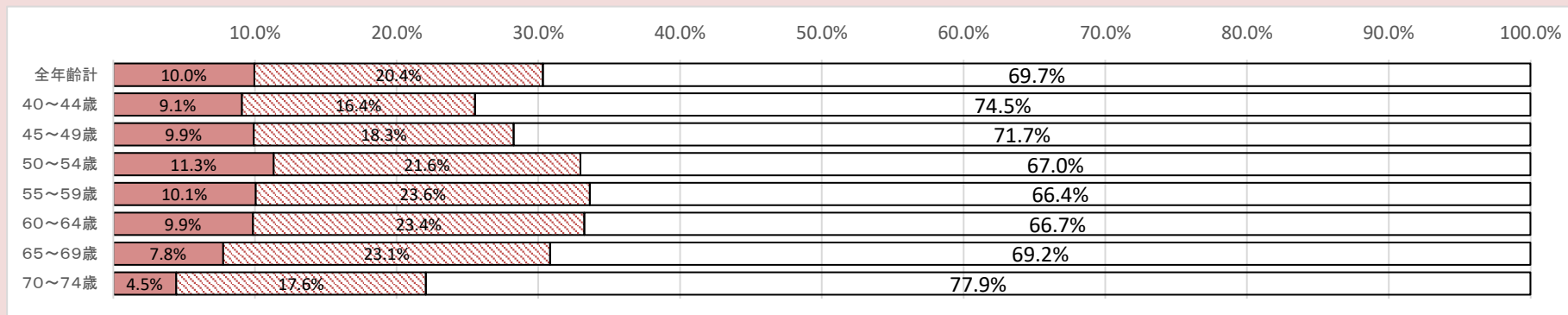
STEP 1 - 5 健康分布図等

〈令和3年度〉

コ・サ④. 肥満が保健指導基準値以上の者の割合_加入者



コ・サ⑤. 肝機能が保健指導基準値以上の者の割合_加入者



加入者全体についてみると

・ 血圧では、保健指導基準値以上の者は全年齢計で33.2%である。40歳から74歳まで、年齢が上がるにつれて割合は高くなる。

・ 脂質では、保健指導基準値以上の者は全年齢計で61.6%である。50歳以上では65%以上であり、とくに55～59歳では68.6%に達する。

・ 血糖では、保健指導基準値以上の者は全年齢計で28.3%である。40歳から74歳まで、年齢が上がるにつれて割合は高くなる。

・ 肥満では、保健指導基準値以上の者は全年齢計で36.8%である。55歳から69歳は40%を超えている。

・ 肝機能では、保健指導基準値以上の者は全年齢計では30.3%である。年齢による差はあまり見られない。

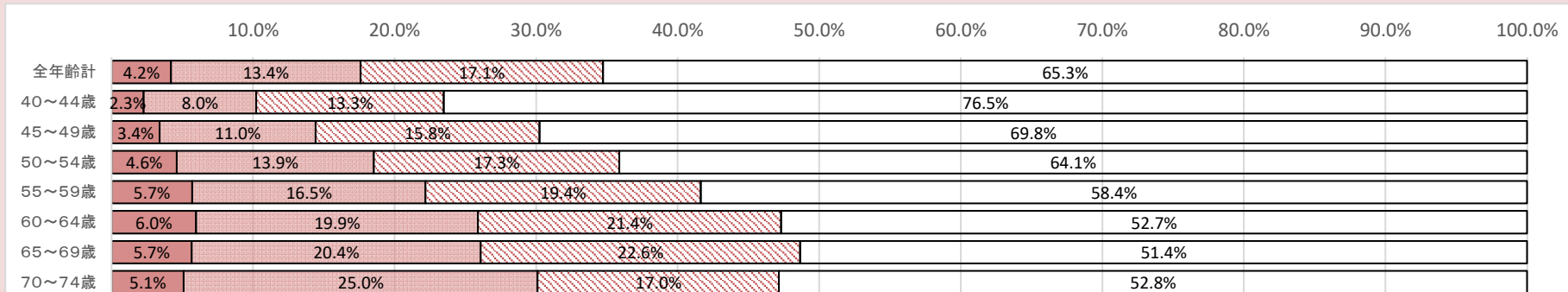
コ・サ

| 血圧(mmHg) | 脂質(mg/dl) | 血糖(mg/dl) | 肥満 | 肝機能(U/L) |
|----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| 収縮期 ≥ 160 or 拡張期 ≥ 100 | LDL ≥ 180 or non-HDL ≥ 210 or 中性脂肪 ≥ 500 (2018年以降) 1000(2017年以前) | 空腹時血糖 ≥ 126 空腹時血糖が無いとき HbA1c $\geq 6.5\%$ いずれも無いとき 随時血糖 ≥ 126 | 内臓脂肪面積 ≥ 100 または 内臓脂肪面積 < 100 and BMI ≥ 25 | AST ≥ 51 or ALT ≥ 51 or γ -GT ≥ 101 |
| 収縮期 ≥ 140 or 拡張期 ≥ 90 | LDL ≥ 140 or non-HDL ≥ 170 or 中性脂肪 ≥ 300 | 空腹時血糖 ≥ 110 空腹時血糖が無いとき HbA1c $\geq 6.0\%$ いずれも無いとき 随時血糖 ≥ 110 | 内臓脂肪面積が無いとき 腹囲: 男 ≥ 85 , 女 ≥ 90 または 腹囲: 男 < 85 , 女 < 90 and BMI ≥ 25 | |
| 収縮期 ≥ 130 or 拡張期 ≥ 85 | LDL ≥ 120 or non-HDL ≥ 150 or HDL < 40 or 中性脂肪 ≥ 150 | 空腹時血糖 ≥ 100 空腹時血糖が無いとき HbA1c $\geq 5.6\%$ いずれも無いとき 随時血糖 ≥ 100 | 内臓脂肪面積 < 100 and BMI < 25 | AST ≥ 31 or ALT ≥ 31 or γ -GT ≥ 51 |
| 収縮期 < 130 and 拡張期 < 85 | LDL < 120 and non-HDL < 150 and HDL ≥ 40 and 中性脂肪 < 150 | 空腹時血糖 < 100 空腹時血糖が無いとき HbA1c $< 5.6\%$ いずれも無いとき 随時血糖 < 100 | 内臓脂肪面積が無いとき 腹囲: 男 < 85 , 女 < 90 and BMI < 25 | AST < 31 and ALT < 31 and γ -GT < 51 |

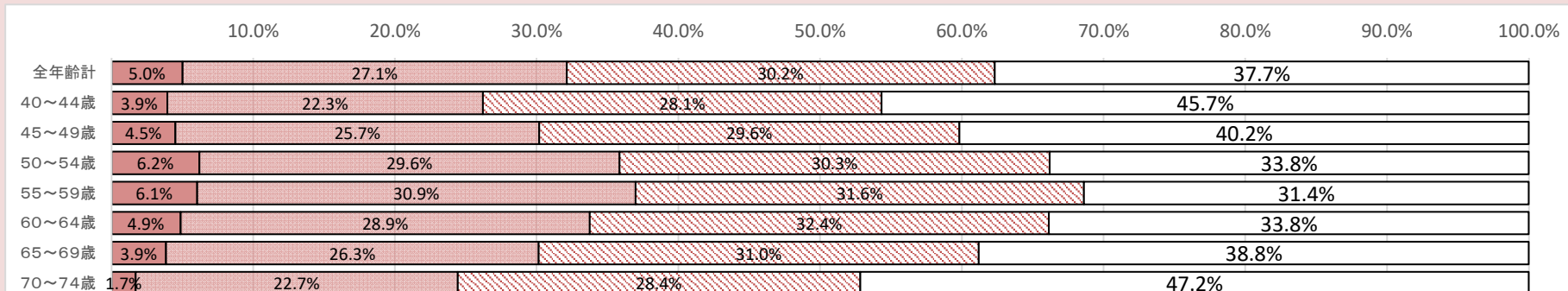
STEP 1 - 5 健康分布図等

コ・サ⑥. 血圧値が保健指導基準値以上の者の割合_組合員

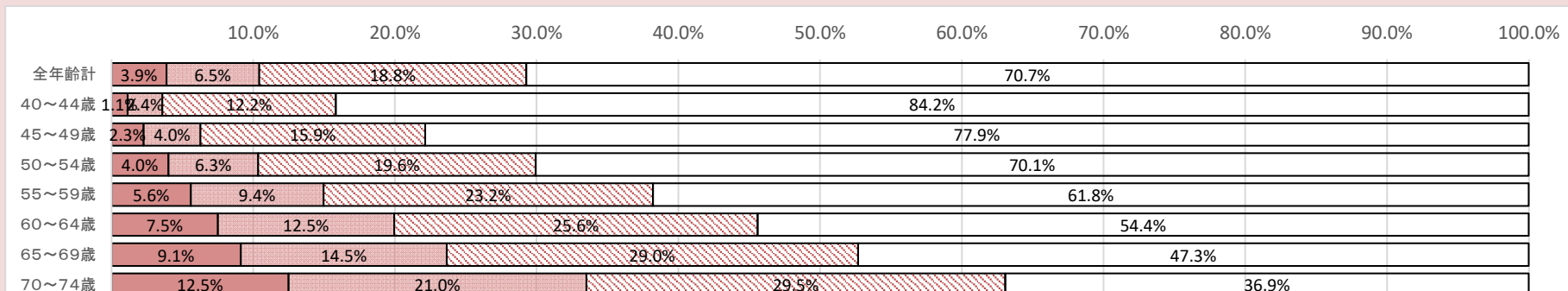
※ランク分け基準表とコメントは次ページに記載



コ・サ⑦. 脂質値が保健指導基準値以上の者の割合_組合員

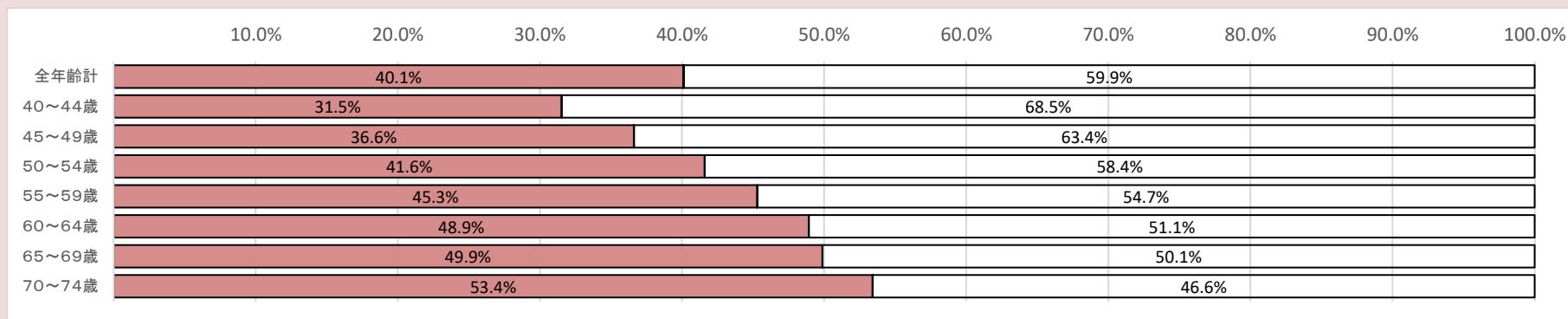


コ・サ⑧. 血糖値が保健指導基準値以上の者の割合_組合員

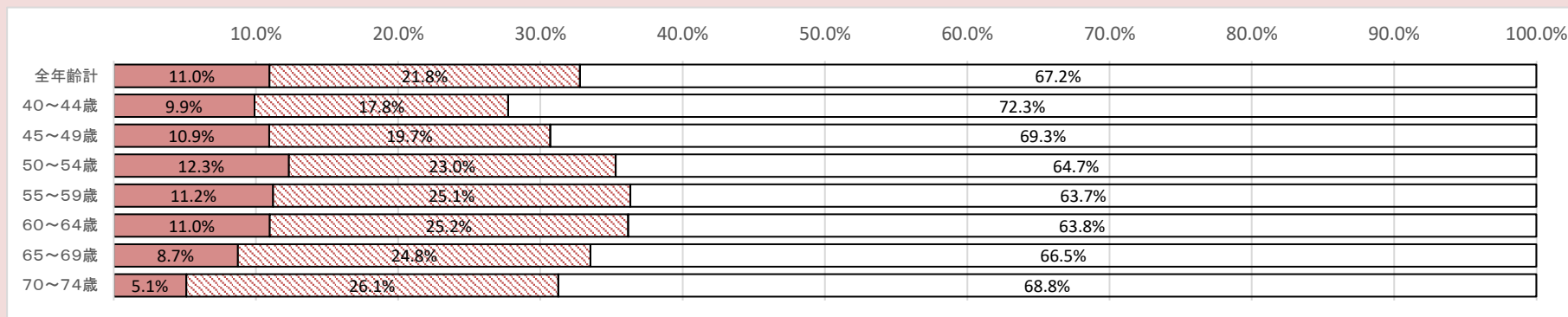


STEP 1 - 5 健康分布図等

コ・サ⑨. 肥満が保健指導基準値以上の者の割合_組合員



コ・サ⑩. 肝機能が保健指導基準値以上の者の割合_組合員



組合員についてみると

- ・血圧では、保健指導基準値以上の者は全年齢計で34.7%である。40歳から74歳まで、年齢が上がるにつれて割合は高くなる。
- ・脂質では、保健指導基準値以上の者は全年齢計で62.3%である。50歳から69歳では65%を超えており、55～59歳では68.6%に達する。
- ・血糖では、保健指導基準値以上の者は全年齢計で29.3%である。40歳から74歳まで、年齢が上がるにつれて割合は高くなる。
- ・肥満では、保健指導基準値以上の者は全年齢計で40.1%である。40歳から74歳まで年齢が上がるにつれて割合は高くなる。
- ・肝機能では、保健指導基準値以上の者は全年齢計では32.8%である。45歳から69歳までほぼ同水準であり、年齢による大きな差は見られない。

コ・サ

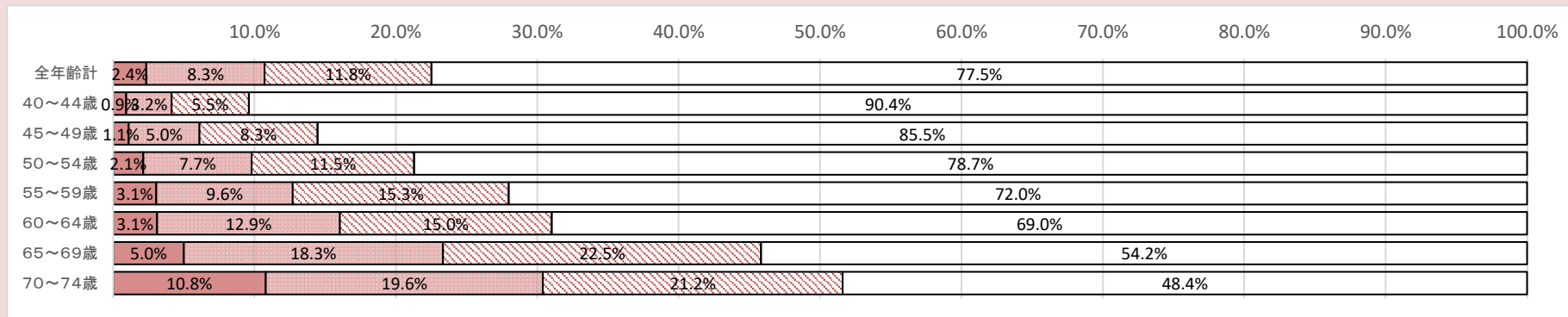
| 血圧(mmHg) | 脂質(mg/dl) | 血糖(mg/dl) | 肥満 | 肝機能(U/L) |
|----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| 収縮期 ≥ 160 or 拡張期 ≥ 100 | LDL ≥ 180 or non-HDL ≥ 210 or 中性脂肪 ≥ 500 (2018年以降) 1000(2017年以前) | 空腹時血糖 ≥ 126 空腹時血糖が無いとき HbA1c $\geq 6.5\%$ いずれも無いとき 随時血糖 ≥ 126 | 内臓脂肪面積 ≥ 100 または 内臓脂肪面積 < 100 and BMI ≥ 25 | AST ≥ 51 or ALT ≥ 51 or γ -GT ≥ 101 |
| 収縮期 ≥ 140 or 拡張期 ≥ 90 | LDL ≥ 140 or non-HDL ≥ 170 or 中性脂肪 ≥ 300 | 空腹時血糖 ≥ 110 空腹時血糖が無いとき HbA1c $\geq 6.0\%$ いずれも無いとき 随時血糖 ≥ 110 | 内臓脂肪面積が無いとき 腹囲: 男 ≥ 85 , 女 ≥ 90 または 腹囲: 男 < 85 , 女 < 90 and BMI ≥ 25 | |
| 収縮期 ≥ 130 or 拡張期 ≥ 85 | LDL ≥ 120 or non-HDL ≥ 150 or HDL < 40 or 中性脂肪 ≥ 150 | 空腹時血糖 ≥ 100 空腹時血糖が無いとき HbA1c $\geq 5.6\%$ いずれも無いとき 随時血糖 ≥ 100 | 内臓脂肪面積 < 100 and BMI < 25 | AST ≥ 31 or ALT ≥ 31 or γ -GT ≥ 51 |
| 収縮期 < 130 and 拡張期 < 85 | LDL < 120 and non-HDL < 150 and HDL ≥ 40 and 中性脂肪 < 150 | 空腹時血糖 < 100 空腹時血糖が無いとき HbA1c $< 5.6\%$ いずれも無いとき 随時血糖 < 100 | 内臓脂肪面積が無いとき 腹囲: 男 < 85 , 女 < 90 and BMI < 25 | AST < 31 and ALT < 51 and γ -GT < 51 |

STEP 1 - 5 健康分布図等

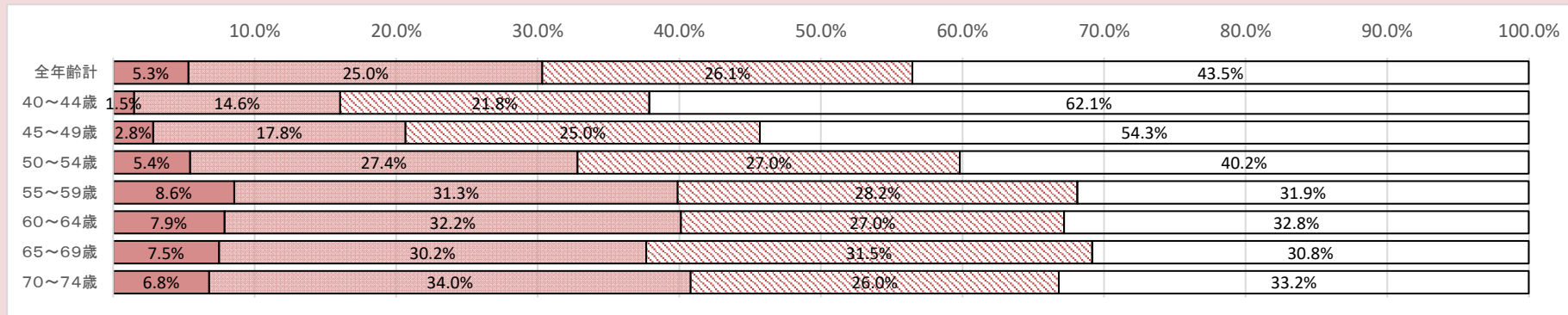
<令和3年度>

コ・サ⑪. 血圧値が保健指導基準値以上の者の割合_被扶養者

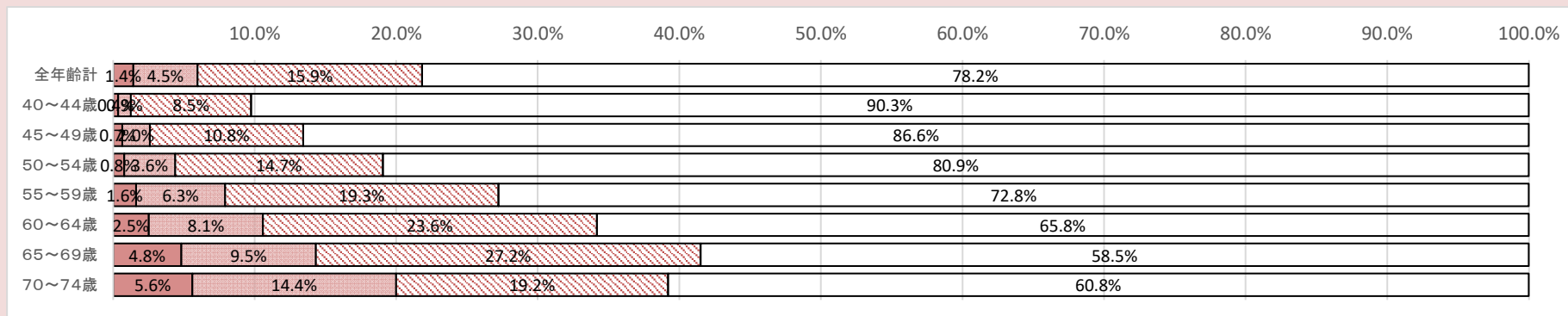
※ランク分け基準表とコメントは次ページに記載



コ・サ⑫. 脂質値が保健指導基準値以上の者の割合_被扶養者



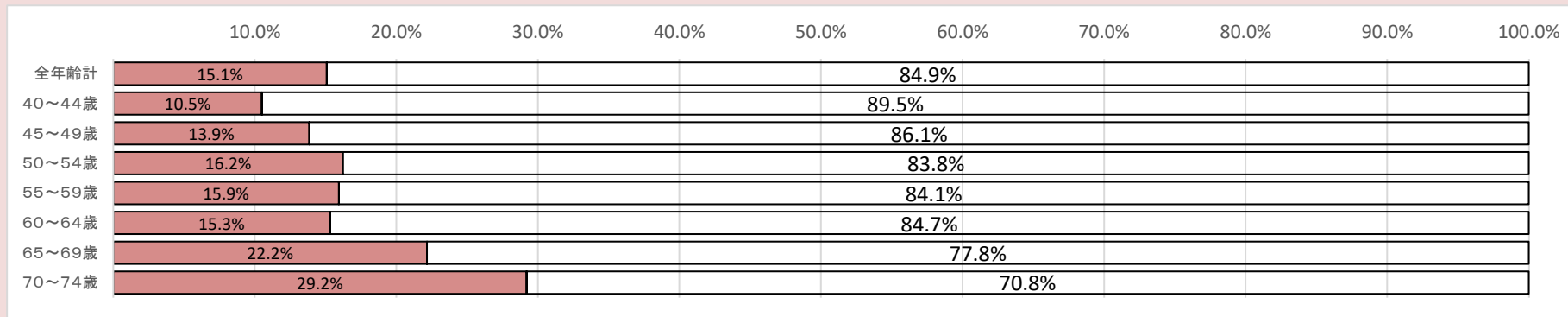
コ・サ⑬. 血糖値が保健指導基準値以上の者の割合_被扶養者



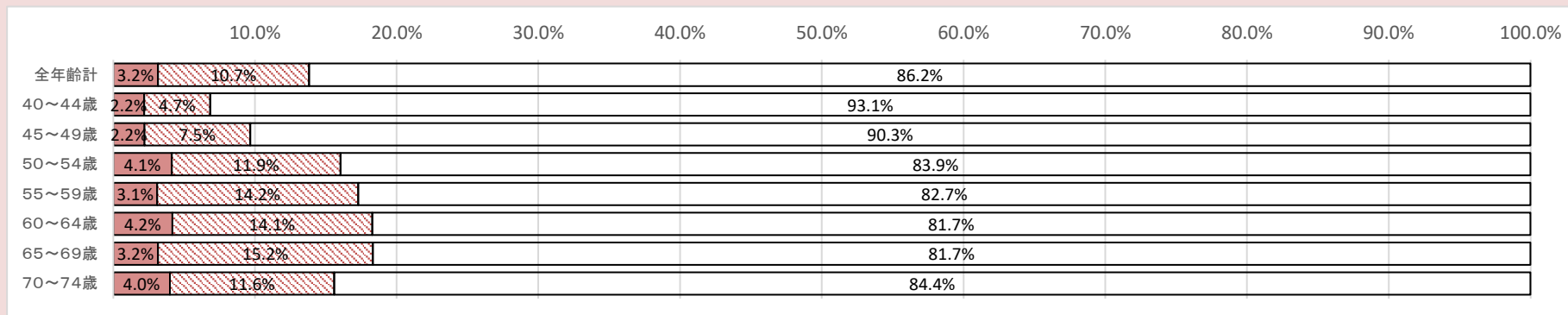
STEP 1 - 5 健康分布図等

〈令和3年度〉

コ・サ⑭. 肥満が保健指導基準値以上の者の割合__被扶養者



コ・サ⑮. 肝機能が保健指導基準値以上の者の割合__被扶養者



コ・サ

被扶養者についてみると

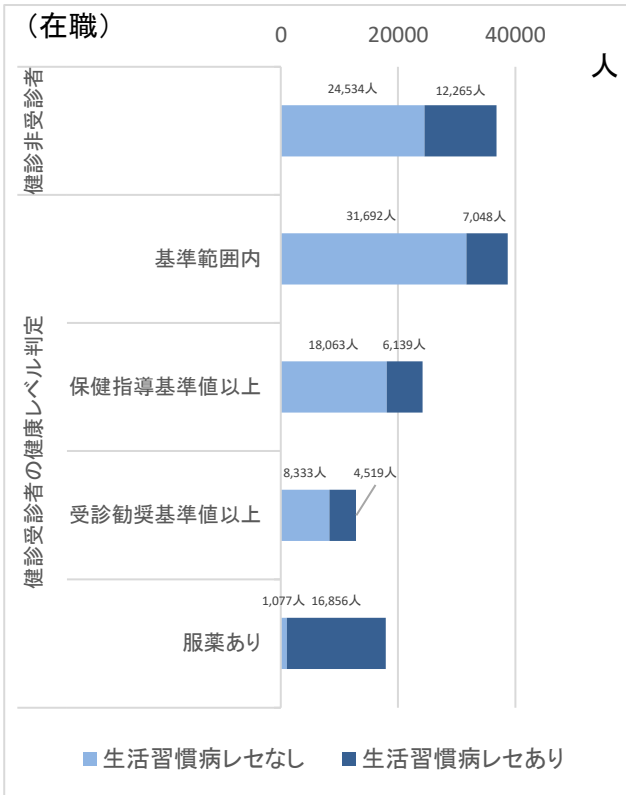
- ・血圧では、保健指導基準値以上の者は全年齢計で22.5%である。40歳から74歳まで、年齢が上がるにつれて割合は高くなる。
- ・脂質では、保健指導基準値以上の者は全年齢計で56.5%である。55歳から74歳までの年齢層では65%を超えている。
- ・血糖では、保健指導基準値以上の者は全年齢計で21.8%である。40歳から69歳まで、年齢が上がるにつれて割合は高くなる。
- ・肥満では、保健指導基準値以上の者は全年齢計で15.1%である。45歳から64歳まではほぼ同じ割合である。
- ・肝機能では、保健指導基準値以上の者は全年齢計で13.8%で、50歳から74歳まではほぼ同水準である。

| 血圧(mmHg) | 脂質(mg/dl) | 血糖(mg/dl) | 肥満 | 肝機能(U/L) |
|-------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| 収縮期 ≥ 160 or 拡張期 ≥ 100 | LDL ≥ 180 or non-HDL ≥ 210 or 中性脂肪 ≥ 500 (2018年以降) 1000(2017年以前) | 空腹時血糖 ≥ 126 空腹時血糖が無いとき HbA1c $\geq 6.5\%$ いずれも無いとき 随時血糖 ≥ 126 | 内臓脂肪面積 ≥ 100 または 内臓脂肪面積 < 100 and BMI ≥ 25 | AST ≥ 51 or ALT ≥ 51 or γ -GT ≥ 101 |
| 収縮期 ≥ 140 or 拡張期 ≥ 90 | LDL ≥ 140 or non-HDL ≥ 170 or 中性脂肪 ≥ 300 | 空腹時血糖 ≥ 110 空腹時血糖が無いとき HbA1c $\geq 6.0\%$ いずれも無いとき 随時血糖 ≥ 110 | 内臓脂肪面積が無いとき 腹囲: 男 ≥ 85 , 女 ≥ 90 または 腹囲: 男 < 85 , 女 < 90 and BMI ≥ 25 | |
| 収縮期 ≥ 130 or 拡張期 ≥ 85 | LDL ≥ 120 or non-HDL ≥ 150 or HDL < 40 or 中性脂肪 ≥ 150 | 空腹時血糖 ≥ 100 空腹時血糖が無いとき HbA1c $\geq 5.6\%$ いずれも無いとき 随時血糖 ≥ 100 | 内臓脂肪面積 < 100 and BMI < 25 | AST ≥ 31 or ALT ≥ 31 or γ -GT ≥ 51 |
| 収縮期 < 130 and 拡張期 < 85 | LDL < 120 and non-HDL < 150 and HDL ≥ 40 and 中性脂肪 < 150 | 空腹時血糖 < 100 空腹時血糖が無いとき HbA1c $< 5.6\%$ いずれも無いとき 随時血糖 < 100 | 内臓脂肪面積が無いとき 腹囲: 男 < 85 , 女 < 90 and BMI < 25 | AST < 31 and ALT < 51 and γ -GT < 51 |

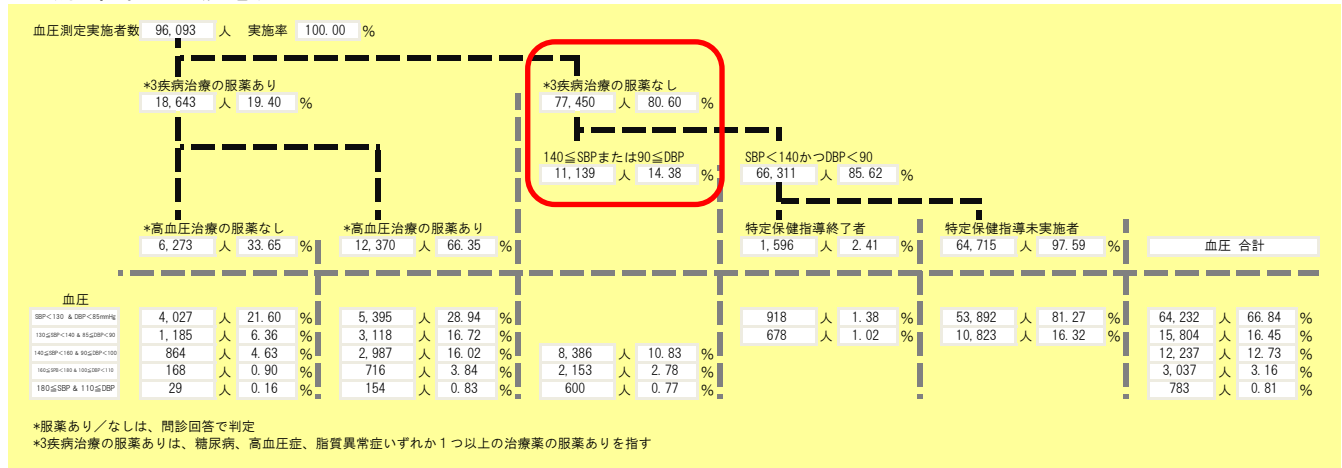
STEP 1 - 6 生活習慣病リスクと医療機関の受診状況等

<令和3年度>

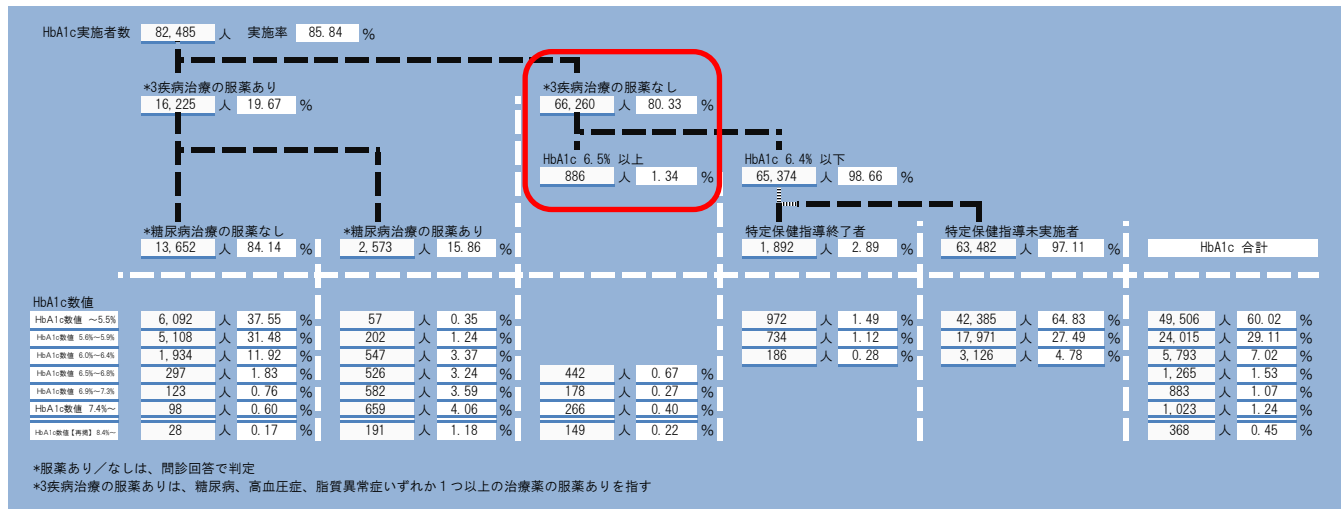
シ. (生活習慣病・健診レベル判定と医療受診状況)



【リスクフローチャート】 ス. (脳卒中/心疾患)



セ. (糖尿病)

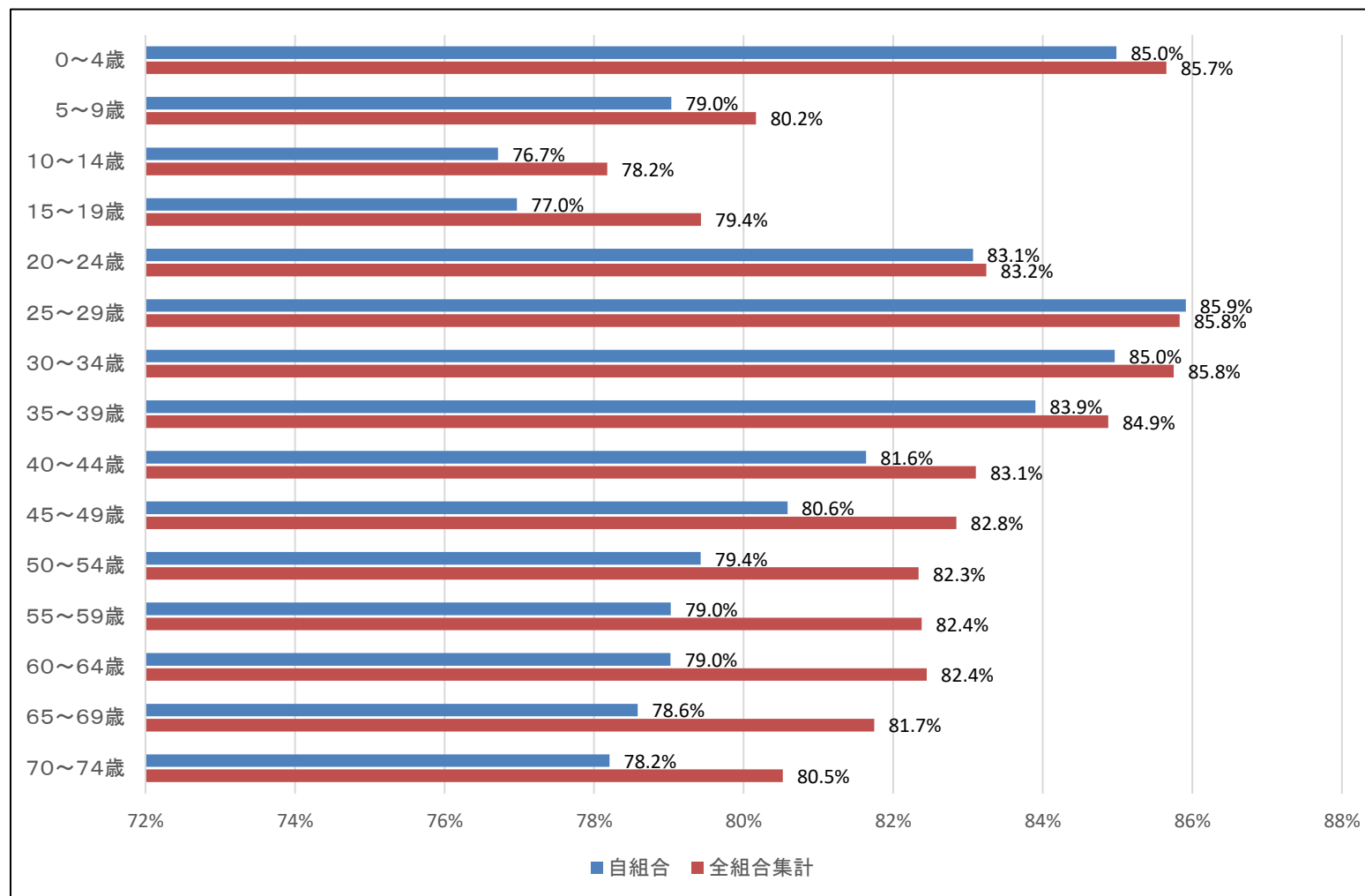


シ、ス、セ 健診データで受診勧奨基準値以上の者12,852人のうち4,519人(35.2%)は生活習慣病で医療機関を受診したが、残りの8,333(64.8%)は医療機関を受診していない。

シ、ス、セ 血圧について、3疾患治療の服薬なし77,450人のうち11,139人(14.38%)は、受診勧奨基準値以上にもかかわらず血圧を下げる薬を服用していない。
HbA1cについて、3疾患治療の服薬なし66,260人のうち886人(1.34%)の人は、受診勧奨基準値以上にもかかわらず血糖を下げる薬を服用していない。

STEP 1 - 7 後発医薬品の使用状況

ソ. (後発医薬品の使用割合)



ソ.

年齢階層別にみると、もっとも低いのは10～14歳の76.7%で、もっとも高いのは25～29歳の85.9%である。
25～29歳を除いては、各年齢階層で全組合集計を下回る。

STEP 2 健康課題の抽出

「全健保組合共通様式」

基本分析による現状把握から見える主な健康課題

| | |
|---------|------------------------------------------------------------|
| ア、 イ | 特定健診の受診率が目標値に届いておらず、特に被扶養者の受診率が低い |
| ウ、 エ | 特定保健指導の実施率が低く、特に組合員の実施率は全組合集計を大幅に下回る。 |
| キ、 ク | 疾病分類では組合員男女とも新生物がもっとも高い。 生活習慣病に関わる疾病では加入者男女ともに糖尿病が一番多い。 |
| シ | 受診勧奨レベルだが、その後の受診行動に結びついていない。 |

対策の方向性

組合員の受診率については、事業主健診結果の提出の徹底、人間ドックの受検についても周知を強化する。被扶養者の受診率については、引き続き受診勧奨ハガキやパンフレットの送付を行う。また、福利厚生サービスと併せて健診のPRを行うなど、被扶養者の目に直接触れる機会が増えるような広報を行う。

ICT面談及び訪問面談の継続実施。特にICT面談の周知を強化し、利用しやすい環境を整える。

がん検診について、各自治体で実施している検診の勧奨や、検診費用に対する補助等を検討する。特定保健指導の利用を促し、生活習慣病の有病者、予備軍の減少に努める。

健診結果から健康状態を見える化できるツールの活用を周知し、各個人が受診しなければならないという意識づくりにつなげる広報活動を行う。

特徴

基本情報

- ・加入者が非常に多く、令和6年4月時点では96支部あり、47都道府県に点在している。
- ・組合員の業種についても事務員、教員、医師、研究者等多種多様である。

保健事業の実施状況

- ・被扶養者、任意継続組合員の受診率向上のため、特定健診、生活習慣病健診の費用補助を実施している。
- ・健康診断後のフォローアップ事業の柱として特定保健指導を実施している。

対策検討時に留意すべき点

支部数が多く、全国に点在及び事業所の規模も異なるという特徴から、一律に事業主との連携を求めることが難しい。

人間ドックや特定健診の健診機関は全国に網羅する必要がある。

特定保健指導については様々な勤務形態に対応可能な方法が求められるため、ICT面談の活用を周知する必要がある。

被扶養者、任意継続組合員に対し、健診受診のメリットをPRし、受診率を伸ばす広報が必要である。

特定保健指導の実施率が低いため、利用を促す広報が必要である。

STEP 3 保健事業の実施計画

「全健保組合共通様式」

| 予算科目 | 注1) 事業分類 | 支部 | 事業の目的および概要 | 対象者 | | | | | 注2) 実施主体 | 実施計画 | | | 目標 | | | | |
|--------------|----------|------------|------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|----|----|-----|----------|--------|-------|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|----------------------------------------|-------------------------|---------------------------------|
| | | | | 資格 | 対象支部 | 性別 | 年齢 | 対象者 | | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | アウトプット | アウトカム | | | |
| 職場環境の整備 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 加入者への意識づけ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 保健指導 宣伝 | 4 | 既存 | ・後発医薬品の差額通知の配布・後発医薬品希望シールの配布 | 【目的】後発医薬品の使用促進、調剤医療費の適正化 【概要】後発医薬品差額通知事業の実施、対象者に「希望シール」を配布 | 組合員被扶養者 | 全て | 男女 | 0 | ～ | (上限なし) | 基準対象者 | 1 | ・差額通知を8月に配布予定 ・後発医薬品の希望シールを新規採用者に配布 | 効果額等を踏まえ、通知送付基準及び送付回数を検討し、差額通知について継続実施 | 効果額等を踏まえ、通知送付基準及び送付回数を検討し、差額通知について継続実施 | | |
| | 4 | 既存 | ホームページを活用した情報提供 | 【目的】情報発信 【概要】加入者への情報提供ツールとしてホームページを活用 | 組合員被扶養者 | 全て | 男女 | 0 | ～ | (上限なし) | 全員 | 1 | 健康情報等の発信や健診活用の周知実施、検討 | 前年度の実施内容を見直し、改善しつつ継続 | 前年度の実施内容を見直し、改善しつつ継続 | | |
| | 4 | 既存 | 加入者向けマイページの活用 | 【目的】情報提供 【概要】健診結果をビジュアル化し、マイページで経年推移や発症リスクのあり疾病を表示 | 組合員被扶養者 | 全て | 男女 | 40 | ～ | 74 | 全員 | 1 | 健診案内時にツールの活用を周知 | 前年度の実施内容を見直し、改善しつつ継続 | 前年度の実施内容を見直し、改善しつつ継続 | | |
| 個別の事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 特定健康 診査事業 | 1 | 既存 (法定) | 特定健康診査(組合員) | 【目的】特定健診の実施率向上、健康状態の把握 【概要】各事業主が実施する定期健診(人間ドック含む)と併せて実施 | 組合員被扶養者 | 全て | 男女 | 40 | ～ | 74 | 全員 | | ・定期健診(人間ドックを含む)と合わせて実施 ・支部ごとの受診率を把握し受診率の低い支部に周知徹底を図る ・任意継続組合員に、年に1回健診案内を自宅へ送付 | 前年度の実施内容を見直し、改善しつつ継続 | 前年度の実施内容を見直し、改善しつつ継続 | 健診事業の周知徹底 | 加入者全体の受診率90%以上 組合員は100%に近づける |
| | 1 | 既存 (法定) | 特定健康診査(被扶養者) | 【目的】特定健診の実施率向上、健康状態の把握 【概要】委託会社の契約健診機関にて受診(人間ドックの受診を含む) | 被扶養者 | 全て | 男女 | 40 | ～ | 74 | 基準対象者 | | ・年に1回対象者全員に、健診案内を自宅に送付 ・支部ごとの受診率を把握し受診率の低い支部に周知徹底を図る ・生活習慣病予防健診及び巡回型健診の実施 | 前年度の実施内容を見直し、改善しつつ継続 | 前年度の実施内容を見直し、改善しつつ継続 | ・健診案内の配布の徹底 ・受診勧奨の実施 | 加入者全体の受診率90%以上 |
| 特定保健 指導事業 | 3 | 既存 (法定) | 特定保健指導 | 【目的】特定保健指導の実施率の向上、生活習慣病リスク保有者の生活習慣、健康状態の改善 【概要】特定健診の結果、基準該当者に保健指導(動機付け支援・積極的支援)の案内送付、委託会社による面談実施委託会社の専用アプリ等を利用した保健指導の実施 スポーツクラブの優待や支援電話による継続支援 | 組合員被扶養者 | 全て | 男女 | 40 | ～ | 74 | 基準対象者 | | ・ホームページにて周知・案内 ・支部ごとの実施率を把握し、実施率の低い支部に周知徹底を図る ・委託会社による訪問面談及びICT面談の実施継続 ・事業主健診時に保健指導の初回面接の実施を検討 対象者 | 前年度の実施内容を見直し、改善しつつ継続 | 前年度の実施内容を見直し、改善しつつ継続 | 保健指導の周知の徹底 | 実施率45%以上 |
| | 1 | 既存 | 人間ドック | 【目的】健康状態の把握、疾病の早期発見、早期治療、特定健診受診率の向上 【概要】組合員及び被扶養配偶者に対し人間ドック費用の一部助成(組合員30,000円、被扶養配偶者25,000円)を実施 | 組合員被扶養者 | 全て | 男女 | 35 | ～ | (上限なし) | 全員 | | 早期受検の周知 | 前年度の実施内容を見直し、改善しつつ継続 | 前年度の実施内容を見直し、改善しつつ継続 | 広報の強化 | 特定健診受診率の向上 医療費の減少 |

STEP 3 保健事業の実施計画

「全健保組合共通様式」

| 予算科目 | 注1) 事業分類 | 支部 | 事業の目的および概要 | 対象者 | | | | | 注2) 実施主体 | 実施計画 | | | 目標 | |
|-------|----------|----|---------------|-------------|-------|----|-------------|-------|----------|------------------------------|----------------------|----------------------|--------|----------------------------|
| | | | | 資格 | 対象支部 | 性別 | 年齢 | 対象者 | | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | アウトプット | アウトカム |
| 疾病予防 | 1 | 既存 | 生活習慣病健診 | 被扶養者 | 全て | 男女 | 40 ~ 74 | 全員 | 1 | 対象者に案内送付及びホームページにて周知・案内 | 前年度の実施内容を見直し、改善しつつ継続 | 前年度の実施内容を見直し、改善しつつ継続 | 広報の強化 | 特定健診受診率の向上 医療費の減少 |
| | 1 | 既存 | がん検診 | 組合員 | 一部の支部 | 男女 | 18 ~ 74 | 全員 | | ・実施支部による周知・案内 ・ホームページでの周知 | - | - | 広報の強化 | がんの早期発見 がん患者の減少 |
| | 7 | 既存 | インフルエンザワクチン接種 | 組合員 被扶養者 | 一部の支部 | 男女 | 18 ~ 74 | 全員 | | 実施支部による周知・案内 | - | - | 広報の強化 | 患者数の減少 インフルエンザ関連の医療費の削減 |
| | 5 | 既存 | メンタルヘルスの無料相談 | 組合員 被扶養者 | 全て | 男女 | 0 ~ (上限なし) | 全員 | | ホームページにて周知・案内 | - | - | 広報の強化 | メンタル要因の通院者の減少 |
| 直営保養所 | 7 | 既存 | 宿泊施設利用補助 | 組合員 被扶養者 | 全て | 男女 | 0 ~ (上限なし) | 全員 | 1 | 継続 | - | - | - | - |
| その他 | 7 | 既存 | 貸出物品等の購入 | 組合員 被扶養者 | 全て | 男女 | 0 ~ (上限なし) | 全員 | | 継続 | - | - | - | - |
| | 7 | 既存 | 生涯生活設計セミナーの開催 | 組合員 | 一部の支部 | 男女 | 40 ~ 74 | 基準対象者 | | 退職準備セミナーにて、退職後の健康管理を働きかける | - | - | - | - |
| | 7 | 既存 | 記念品配布 | 組合員 | 全て | 男女 | 18 ~ (上限なし) | 基準対象者 | | 継続 | - | - | - | - |
| | 7 | 既存 | 福利厚生サービス | 組合員 被扶養者 | 全て | 男女 | 0 ~ (上限なし) | 全員 | | 継続 | - | - | - | - |

注1) 1. 健康診査 2. 健康診査後の通知 3. 保健指導 4. 健康教育 5. 健康相談 6. 訪問指導 7. その他

注2) 1. 共済組合 2. 支部が主体で保健事業の一部としても活用 3. 共済組合と支部との共同事業